



2019年11月1日

各位

会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
代表者名 代表取締役社長 池田 達彦
(コード番号 7506 東証第一部)
問合せ先 業務執行役員経営企画室長 小野 敏 健
TEL: 03-5114-5814(直通)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月1日開催の取締役会において、2019年5月14日に開示した「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期業績予想について、最近の業績動向等を踏まえ、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,150	百万円 680	百万円 680	百万円 340	円 銭 72.30
今回修正(B)	13,000	320	320	160	34.02
増減額(B-A)	△1,150	△360	△360	△180	
増減率(%)	△8.1	△52.9	△52.9	△52.9	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	13,935	716	713	360	76.74

2. 修正の理由

当期は、当初計画において本年10月施行の消費増税の影響が見通し難く、またハウス オブ ローゼ直営店の店舗数減によるマイナス要因を勘案しながらも、中国越境ECの卸売や通販事業の伸長を期して売上高は微増とし、営業利益等につきましては、店舗スタッフの処遇改善による費用増加も考慮して5%程度の減益という見通しをもっておりました。

しかしながら、今中間期は台風や豪雨といった自然災害で広域にわたり店舗運営が影響を受け、さらに冷夏により季節商品が低迷する等、9月下旬に消費増税前の駆け込み需要がみられたものの、化粧品販売部門売上は想定以上に減少しました。また中国越境ECの卸売につきましても、中国側の規制強化及び市況の変化により計画値から大幅に減少しました。直営店舗数の減少による物件費等を始めとした経費は削減されましたが、第2四半期累計売上高で前年同期比5.1%減、営業利益が同30.7%減の結果となりました。

2020年3月期第2四半期決算の業績結果、及び10月度に入り消費増税の影響で特にハウス オブ ローゼ直営店売上が減少し、さらに相次ぐ台風等により首都圏を中心に広い範囲で店舗売上が影響を受けたことにより、業績が当初計画を大きく下回る見込みになること等を踏まえ、2020年3月期通期の業績予想を下方修正いたします。

以上